

レーザー専門企業がレーザー加工時の粉塵を吸引する専用集塵機を開発

医療フィルムに微細な穴を加工するレーザー加工機とその際に発生する粉塵を処理する集塵機を開発。事業展開を進める中で集塵機に対する潜在的ニーズに着目。業界問わず引き合いが増えている集塵機製造販売で事業化を進めている。

事業者名:株式会社アフレアー 事業年度:26年度

事業テーマ: 汎用素材を高機能化! 医療用フィルムの微細加工を広範囲、非接触で実現するレーザー装置の開発

企業概要



2008年9月に創業してから各種機械および光学機器の設計、製造、販売を行なっている。また他にも、レーザーアプリケーションの研究、開発、コンサルタント業務、機械設計、製造、販売のコンサルタント業務、各種機械、光学部品の輸出入業務などを行なっている。

☎ 株式会社アフレアー

👤 代表取締役 長谷川 明伸

📅 2008年9月

📍 〒252-0816
藤沢市遠藤
4489-105 SFC-IV 103

👥 4人

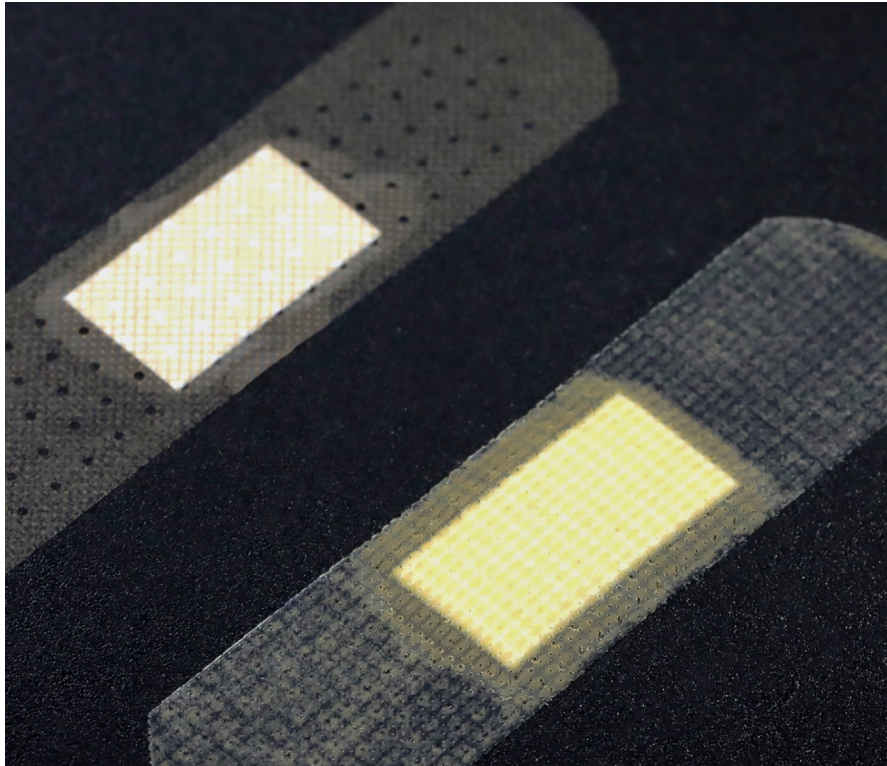
💰 1,000万円

☎ 046-647-9904

🏭 電気機械器具製造業

取材の現場から

「良いものを作れば売れるのではなく、企業が今悩んでいることを聞くことが製品開発の第一歩」と長谷川社長。悩みが分かれば解決方法を考えることができ、それが製品になることを実感したと言う。集塵機の販売へ大きく事業転換をできた経営判断の速さも収益力向上の要因と感じた。



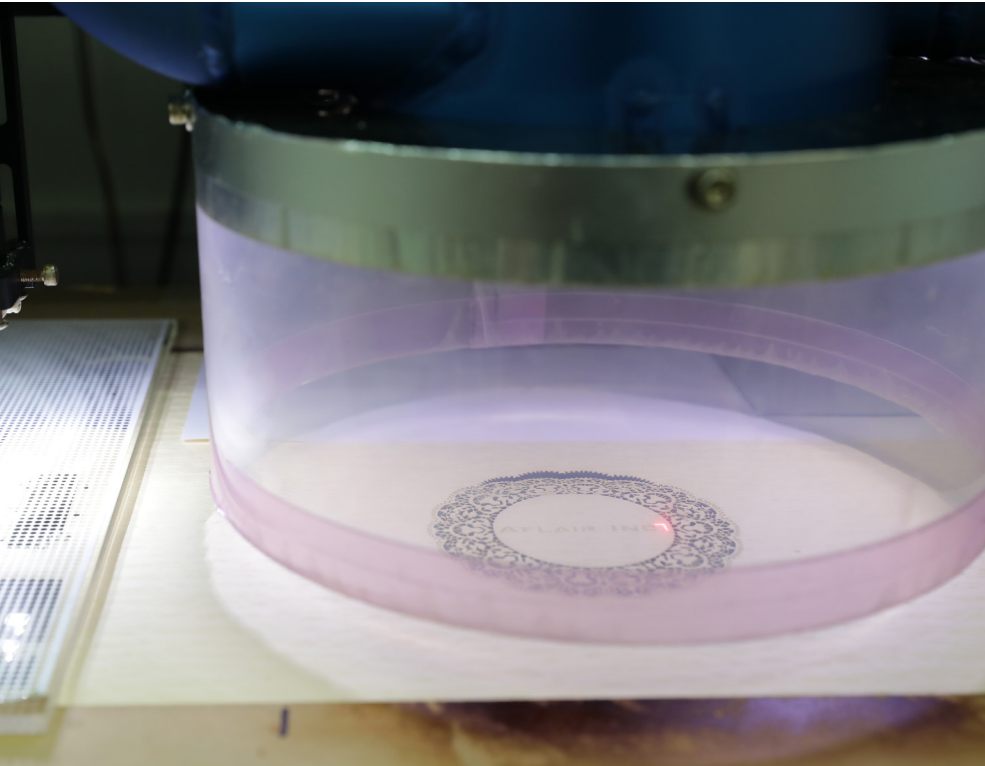
レーザーで微細な穴を開け通気性を高めた絆創膏



代表取締役の長谷川 明伸氏



試作開発したレーザー加工機 集塵機能もつく



レーザー加工時に発生する粉塵を吸引する集塵機 吸引ノズルも専用設計

補助事業のきっかけ

・当社は特殊加工に特化したレーザー加工装置の開発を得意としている。レーザーは産業用に利用されているものは大手メーカーの汎用装置がほとんどで大量生産によりコストダウンがなされている。開発においてコストも重視されるため当社の規模では競争力が発揮できない分野であった。
・汎用装置では対応が困難な、医療製品の機能を高めるレーザー加工装置を開発しようと考えた。

事業計画の概要

・医療分野で汎用的に利用されている商品に、レーザー加工を加えることで機能性を高めることを目的とした。
・絆創膏など医療用テープは通気性が悪いと肌がふやけたり、汗でテープが剥がれてしまうことがある。フィルム素材に対して高密度で微細な穴を開け、テープの通気性を高め、汗や水分に起因する剥離現象を防止するレーザー加工機を開発した。合わせて、加工時に発生する粉塵を吸引する集塵機を開発した。

事業化状況

・補助事業は試作機を開発し医療テープの機能をアップできたが、医療業界への参入は様々な承認や認可の壁があり思うように事業が展開できなかった。一方で、集塵機への受注が増えている。レーザー加工時の粉塵処理に悩む企業の悩みを解決する製品として商品力が高まっている。

良いものを作ってもすぐに商品化できる訳ではない

で吸引力が維持でき、交換時に塵が舞うこともなく、クリーンルーム内の使用にも最適です。

業界問わず受注が広がる

レーザーと集塵、それぞれのメーカーは別業界に位置づいていましたが、当社のようなレーザーを専門とする企業が集塵機を作ることで、これまでにない画期的な製品ができていたのです。現在は、食品、IT機器製造、自動車と業界問わず様々なメーカーに採用いただいています。このような取扱実績から、結果的に医療機器メーカーの関心も高まり、当初ターゲットにしていた医療業界への参入も実現しました。集塵機はレーザー加工機に比べると単価は低く、100〜600万円の価格を設定しています。新型コロナの影響でレーザー加工機の売上は5割ほどとなりましたが、集塵機が収益の柱に育ちつつあります。当社はベンチャー企業のような規模の小さな会社なので、競合が存在する製品では勝ち目はありません。他社でできない、世の中にないものを創り出していくことが事業継続の要と考えています。